

●モンゴル

消費者信頼感指数 (CCI)

2020年初頭のCOVID-19パンデミックの世界的な発生は、モンゴルの経済と人々の生活に大きな打撃を与え続けている。2020年3月に実施された調査によると、モンゴルの消費者の経済に対する信頼は、前年に比べて大幅に低下した(図)。2020年第1四半期の消費者信頼感指数(CCI)は81で、2019年第1四半期より14ポイント低くなった。現在のビジネスと労働市場の状況に関する消費者の評価から計算された現況指数は、2019年第1四半期の56から低下した。同時に、消費者のビジネス、所得、労働市場の状況に関する短期的な見通しを示す予想指数は、121から103に急落した。

COVID-19関連の検疫による経済の縮小により、雇用機会が減り、現状に対する消費者の評価が低下した。世界的なパンデミックが広がるにつれ、ビジネス状況や雇用機会に関する不確実性が高まり、消費者の期待は低下している。

ただし、現在の状況について、昨年よりも「悪い」とする消費者の割合は26.7%と比較的変わらず、「良い」とする消費者は15.2%から17.6%にわずかに増加した。

耐久消費財の需要は、2020年の第2四半期および第3四半期にわずかに減少する可能性がある。2020年の第1四半期の時点で、消費者の16.5%が自動車の購入を予定しており、13.8%が主要な家電製品および家具の購入を予定しており、さらに7.5%が不動産の購入を予定している。これらの数値は2019年の同時期と比較して、主要な家電製品と家具を除いて安定していた。

COVID-19の発生により観光需要の劇的な減少が予想される。2020年の第1四半期に、消費者の16.7%が海外または国内のリゾート地への旅行を予定している。この数値は前年のレベルから2分の1になった。

CCI分析の他の重要な部分は、消費者価格、為替レート、住宅価格、金利などの価格予想である。来年の予想インフレ率は5.6%と推定されている。ウランバートルでは来年の予想インフレ率は5.2%であり、これは農村部の予想インフレ率から0.7ポイント低くなっている。

次の半年間の平均予想為替レートは、1米ドルあたり2,799トゥグルグになる。2020年の第1四半期の実際の米ドルの為替レートと比較すると、この予想為替レートは約30トゥグルグ高くなっている。

住宅価格予想指数は、来年の住宅価格変動に対する消費者の認識に基づいて計算されている。消費者が住宅価格の安定を予想している場合、この指数は1になる。消費者が住宅価格の上昇を予想している場合、インデックスは1より大きく、消費者が価格の低下を予想している場合、インデックスは1より小さくなる。2020年の第1四半期の指数は1.09で、2019年の第4四半期の1.2から低下している。

2020年第1四半期では、安定した金利を予想している消費者の割合が最も高く36.6%のシェアだった。ただし、金利の上昇を予想する回答者は13.4%で最少であり、消費者の25.8%は金利が来年に低下すると回答した。また24.1%は来年の金利の変化についてわからないと回答した。

国立調査コンサルティングセンター(NRCC)所長
モンゴル国立大学経済学部准教授
バトチュルン・アルタンツェツェゲ

モンゴル日本人材開発センター所長
ツェンドダワー・ダワードルジ

NRCC 研究員
モンゴル国立大学経済学部准教授
バトベヘ・ソヨルマー

図 消費者信頼感指数 (CCI)

